

牛乳消費拡大一助に

この度当社は、常陽銀行の寄贈サービス付き私募債「社会貢献応援債」を活用し、茨城県酪農業協同組合連合会（県酪連）への20万円の寄付を致しました。この背景には、いまだかつてない生産者様の経営危機を目の当たりにし、間近で携わるものとして何かできないかと思慮したところにあります。為替や世界情勢の影響で、飼料価格の高騰により経費は嵩む一方、コロナ過以降牛乳の消費量は低迷しており、乳価への転嫁が難しい状況です。これは我々運送業界も同様であります。畜産に関わる業界では、生き物を相手にするうえでは24時間や体制の過酷な現場と言えます。その餌である飼料や、生産品を運ぶ私たちの業界も同じで、畜産業界の安定した発展なくして、共存は難しいと考えます。

16日に畜産会館（水戸市梅香）で行われた贈呈式には、茨城新聞社の取材が行われ、去る11月21日の朝刊に掲載頂きました。このようなメディア媒体を通じて、業界の現状が広く知られる事が、牛乳消費拡大への一助となれば幸いに思います。

